

令和7年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 4月に比べ、平仮名の読み書きや音読ができるようになってきているが、個人差が大きい。 すすんで発言する児童と考えをもつても発言ができない児童の個人差があること。 語彙をより豊かにし、適切な表現ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉読みや追い読みなど、さまざまな読み方で音読練習をしながら、語のまとまりで読めるように指導していく。また、ノートを書く機会を多くもち、書く力をつける。【発見・表現】 身近な話題について話す活動を取り入れながら自分の考えを伝えられるように支援する。【対話・表現】 かるたやしりとり、分類ごとの言葉集めや反対言葉のぬりえなど興味をもって取り組めるようにする。【発見】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み、問題の意図を理解することがまだ難しい児童がいる。 計算の正確さや速さの個人差が大きい。 正しい式や答えを求めるることはできるが、理由を説明することが全体的にまだ難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを見付けさせ、具体物を操作したり、絵や図に表したりして、よりよい理解につなげる指導をする。【発見・表現】 宿題やプリント、個別指導の中で繰り返し問題を解いて力を付けさせる。【発見・表現】 自分で考える時間を十分に確保し、文章や図で書いたり、友達に説明したりする活動場面を増やしていく。【表現・対話】 		
生活	<ul style="list-style-type: none"> 知りたいという思いを持ち、主体的に楽しく取り組めているが、継続的に取り組み、自分から気付くことが難しい児童がいる。 学習中、ねらいから外れて、他のことに興味が移ってしまう児童がいる。 絵や言葉、文章で表現したりすることについて、個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> できる限り実物に触れたり接したりさせる。状況的に難しい場合は、それを補うためICTを活用したり、資料を用意したりする。【発見】 学習のねらいについて、授業の途中や終わりに振り返りを行わせる。【決定・表現】 個々に応じて、ワークシートの量を減らしたり、まとめ方のパターンを提示したりする等の手立てをとる。【表現】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱や器楽、表現活動に意欲的に取り組む児童が多いが、技能面で経験や発達段階による差が見られる。 平仮名の読み書きの能力に差があり、階名や歌を読み、歌うことがスムーズにできない児童がいる。 全体的に歌唱はよくできているが、1人で歌唱することや表現することに抵抗感をもつ児童がいる。 自分のやりたいことを抑えられず、鍵盤や打楽器で学習の迷惑になる音を出してしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習時間を十分に確保し、何度も繰り返し行うことで経験の差を埋められるようにする。階名や歌詞を暗記するまで繰り返し行い、指の動きに集中して取り組めるようにする。【発見】 児童同士で教えあったり、演奏を聴き合ったりする時間を設けて人前で演奏することに慣れさせる。【表現・対話】 体で表現、言葉で表現など様々な表現方法を経験させ、音楽の楽しさを感じられるようにする。【発見・表現・決定】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな表し方を考えることに課題がある児童がいる。 制作を短時間で終わらせてしまい、より工夫して取り組むことの苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品を見合う場面を取り入れることで、友達のよさや作品の工夫に気付き、どのように工夫すればよりくなるか、児童が自ら解決できるようにする。【発見・対話・表現】 更に良い作品になるように、粘り強く学習に取り組めるように指導する。【対話・表現】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> クラスや学年の中に入れずに、集団行動に課題をもつ児童がいる。 マット、水遊び、固定遊具等の道具を使った運動遊び等において、経験不足で体の使い方が掴めない児童が多く見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> できるところを認めたり励ましたりしながら、運動遊びへの意欲・関心をもたせる。【対話・表現】 運動遊びの運動量を確保し、多様な運動感覚を身に付けさせるとともに体力の向上を図る。【発見・表現】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書くときに、助詞や長音、促音や拗音などを正確に使って書くこと。 学年相応の漢字を習得し、文章を書くときに使うこと。 簡単な構成を考えながら文章を書いたり、読んだりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 文を書く前に、句読点やかぎかっこ、助詞など既習事項を振り返りながら授業をすすめる。促音や拗音については、個別指導を行う。【決定・表現】 定期的に漢字練習とミニテスト、直しを行い、正しく覚えられるようにしていく。また、日記などで漢字を使用する頻度を増やす。【発見・表現】 モデル文などを使って文章構成を確認する。【対話・表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能を習得すること。 既習事項を活用して、自分の考えを表現すること。 数量や図形に親しみ、算数で学んだことを日常生活や学習に活用しようすること。 	<ul style="list-style-type: none"> その単元の学習に関連する既習事項を掲示したり、授業の初めに復習したりする。【発見・表現】 問題の中でポイントとなる部分を確認し、図や絵・具体物などを用いて、分かりやすいよう指導をする。【発見・決定】 自分の考えを友達と伝え合う活動を取り入れる。【対話・表現】 		
生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活上必要な習慣や技能を身に付けること。 観察したり、体験したりしたことについて文章や絵などで表現すること。 生活科で学んだことを日常生活や学習に活用しようすること。 	<ul style="list-style-type: none"> できる限り実物に触れたり接したりさせる。それが難しい場合は、本で調べ学習を取り入れたり、写真や動画資料などを活用したりする。【発見】 個々に応じて、写真を用いて負担を軽くしたり国語で学んだことを活かしてまとめ方のパターンを提示したりする手立てをとる。【対話・表現】 振り返りの活動の中で、日常生活との関連や今後の生活への活用についての視点をもたせる。【決定・表現】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 正しい指使いで、鍵盤ハーモニカを演奏すること。 曲調に合う声の出し方で歌うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ずつ丁寧にチェックする時間を確保し、基本の指使いを繰り返し指導する。【表現】 歌詞やメロディーから曲の感じを想像し伝え合う活動を取り入れる。【対話・表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 活動を短時間で終わらせてしまい、より工夫して取り組むことが苦手な児童がいる。 手先の器用さに差があり、用具や材料の特徴を生かして工夫することに課題がある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考見本や用具や材料の使い方や手順を掲示するなど、児童にどのように工夫すればいいのか具体的な方法が分かるようにする。【発見・表現】 授業中に作品を見合う時間をつくり、他の児童の工夫している点など全体に紹介し、共有していく。【対話・発見】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動に親しむこと。 基本的な動きを身に付けること。 運動遊びの行い方を工夫したり、考えを他者に伝えたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の児童が具体的なめあてをもてるよう支援する。【発見・決定】 児童の動きを見てその場で個別指導し、児童に伝えていく。【決定・表現】 ペアやグループで見合い、教え合う活動を積極的に取り入れていく。【対話・表現】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 学年相応の漢字を習得し、普段の生活の中で活用すること 内容のまとめに気を付けて、文章を書くこと 文章を正しく読み取ること 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に小テストを行い、少しずつ覚えられるようにする。とめ・はね・はらいまで意識して、練習させる。【表現・発見】 組み立てメモを使って、「はじめ」「中」「おわり」のまとめを意識させる。【表現】 音読を取り入れることで、内容の理解を深める。【表現】 自分で読み取れるように、大事なところに線を引くなどの方法を提示する。【決定】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数の構成と表し方に苦手さがあり、特に数の相対的な大きさの理解が難しい。 数量の関係を表す式では、文章から意味を読み取ったり式で表したりすることが難しい。 図形の問題でも、既習事項である図形の性質の知識が定着していないため、新しい学習内容の理解に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 位取り表を使って指導を続けたり、具体物などを用いた活動を取り入れたりすることで定着を図る。【発見】 具体的な場面に対応させながら式を用いて簡潔に表す良さに気付かせたり、数量と数量の関係に着目させたりする。【発見】 掲示物などで定着を図ったり、具体的に作業を取り入れたりして定着を図る。【対話】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察対象の比較をしたときに気付いたことをノートに書くこと。 活動の様子から差異点や共通点を見付け、問題を見い出すこと。 クラスの実験結果を比較し、結果から分かることをまとめ、文章に表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用しながら比較し、体の大きさや色の違いなど細かい違いを見つけられるようにする。【発見】 活動から気付いたことを共有し、友達が考えていることを把握しやすくする。【発見・表現】 考察の書き方を支援し、徐々に自分で書けるようにする。【表現】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地図や写真などの資料から、必要な情報を読み取ること 情報を関連付けたり、比較したりすることで新たな気付きを見出すこと 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み取り方を丁寧に教え、正確に読み取れている児童の考えを取り上げていく。【発見】 気付いたことを伝え合う活動を取り入れ、様々な角度から情報を捉えられるようにする。【対話・発見】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの正しい運指を覚え、息遣いやタンギングに気を付けて演奏することが厳しい児童がいる。 鑑賞して「気付いたこと・感じたこと」を表現する語彙力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 音数を減らして無理なく取り組めるものから取り組ませ、自信をつけさせる。【発見】 「気付いたこと・感じたことの例」を示し、自分の言葉で表現できるようにする。友達と考えを共有して様々な表現方法があることを知り、自分の考えを増やす。【発見・表現・対話】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 技法や素材との出会いを楽しみながらのびのびと表現できる児童が多いが、表し方の構想を練ることに課題がある児童がいる。 自分で表したいことを見付け活動できる児童が多いが、題材によっては、発想が広がらない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な作品やその表し方を提示し、自分の思いに合った表現を見付けたり構想したりする場面を設定する。【発見・表現】 材料を試したり友達と相談する時間を設けたりすることで、児童が発想するきっかけをつくる。【発見・対話】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 鉄棒・マット運動をはじめ、体の動かし方を身に付けること。 自己の能力に適した課題を設定すること。 運動にすすんで取り組み、友達と仲よく運動したりお互いの考えを認めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな体勢を意識的に取らせたり、動きを補助したりする配慮をする。【表現】 児童の動きを見てその場で個別指導し、児童に伝えていく。【決定・表現】 学習カードで達成の有無を視覚化して自己の能力を知り、自分の課題を明確にさせる。【発見・決定】 友達と協力してより良く運動できるようにペア・グループ学習の手立てを取る。【対話・表現】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていない

で、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字の定着が難しい児童がいること。 思いや様子が伝わるように詳しく文章を書くこと。 文章を正しく読み取ろうとすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを活用し、少しずつ覚えさせる。自分で直しをし、はねやはらい、画数などの間違いに気付かせる。【発見】 メモや下書きを活用し、使わせたい文章表現を入れる。【表現】友達と読み合い、足りない情報を伝え合うことで詳しく書けるようにする。【対話】 文章量が多いと意欲が低下する児童がいるので、繰り返し読んだり、区切りを示したりする。傍線をひく、付箋にまとめて整理をするなど具体的な方法を示して、自分で読み取れるよう支援する。【決定】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の引き算、かけ算、わり算の計算問題が定着していないため、新しい学習内容の理解に時間がかかり定着するのに時間がかかる。 数量の関係を表す式では、文章から意味を読み取ったり式で表したりすることが難しい。 図形の問題でも、既習事項である図形の性質の知識が定着していないため、新しい学習内容の理解に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習や授業の始めに練習問題に取り組ませ、定着を図り、本時に生かせるようにする。【決定・表現】 具体的な場面に対応させながら式を用いて簡潔に表す良さに気付かせたり、数量と数量の関係に着目させたりする。【発見】 掲示物などで定着を図ったり、具体的に作業を取り入れたりして定着を図る。【発見】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験や体験から視点をもって気付いたことをノートに書くことが難しい。 差異点や共通点を見つけることができない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前にどこに着目するとよいかよく確認をする。【発見・対話】 互いの考えを共有し、伝え合う時間を設ける。【表現・対話】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料（グラフやイラスト）から内容を読み取ることができない。 調べたいことに対して必要な資料を選ぶことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> どこに着目すると見つけられるか確認し、読み取り方の練習をする。【表現・対話】 互いの考えを共有し、資料の選び方や資料から分かることについて学びを深める。【対話・表現・決定】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 正しい運指やタンギングが身についていない児童もいるなど、技能に個人差がある。 曲想に合った発声方法が身に着いていないため、歌唱表現の幅に課題があること。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ演奏やクラス内発表の機会を増やし、教え合い、協力して演奏することで基本的な奏法を身に付けさせる。【対話・発見】 発声練習や歌のポイント指導を通して、音楽的表現を身に着けさせる。【表現】 		
図画工作	手先の器用さに差があり、用具や材料の特徴を生かして工夫することに課題がある児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 既習の用具・材料を使用する際にも、教師が示範したり使い方や手順を掲示したりするなど、再度確認してから活動に入らせる。【表現・発見】 授業中に作品を見合う時間をつくり、他の児童の工夫している点など全体に紹介し、共有していく。【対話・発見】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合うめあてや練習を考えること。 体の動かし方のコツを見付け、言語化すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 場を用意したり、練習方法をいくつか例示したりする。【決定】 動画を活用したり、友達と見合ったりして、望ましい動きと実際にしている動きを比べる。【発見・対話】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習熟が十分でない児童がいること。 自分の考えを書いたり話したりすることが苦手なこと。 文章を正しく読み取ることが苦手な児童が多いこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方を工夫し、声に出て学習したり、小テストを繰り返し行ったりする。【発見】 自分の思いや考えを表現する機会を日常から多く設定する。書いたり話したりする視点を明確にし、語彙を増やす指導を行う。【対話・表現】 文章を読むときの視点を明確にする。傍線を引く、色分けなど読み取るための工夫を紹介し、自力解決できるようにしていく。【決定】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数と計算では小数のわり算の場合、商の小数点の位置などの理解が難しい。面積などを問題も、解き方は理解できるが、計算で誤り正解に繋がらない。 図形を構成する要素や位置の理解が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数の計算の仕方を考える際に、整数の場合と比べながら考えられるように続けて指導し、朝や隙間時間などを使って練習問題に取り組ませ定着を図る。【決定】 立体の学習では、具体物を扱ったり、デジタル機器を利用したりして十分立体感覚を養わせる。【発見】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験と既習事項を結び付けて予想や考察を考えることが苦手である。 実験や観察を通して行ったことは記憶に残りやすいが、言葉で表現するのが難しい。 実験に対する好奇心はとても高い。 観察・実験結果を基にした根拠のある考察をすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自力解決の後でペア学習かグループ学習を取り入れ、多面的に考えることで思考を深める。【対話】 自分の立てた実験計画からどのような結果が得られるのか考え、児童同士で検討できる時間を持つ。【表現】 		
社会 (佐藤)	<ul style="list-style-type: none"> 調べたいことを知るためにどの資料が適切であるか選択したり、資料から何が分かるのかを読み取つたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取る活動において、友達と意見を交流し、見方・考え方を広げる。【対話】 資料から分かることを文章で表現するときに、言葉の意味を指導し、事象を適切に表せるように指導する。【表現】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞して「気付いたこと・感じたこと」を表現する語彙力がない。 運指やタンギングなどの基本的な奏法を身につけること。4月に比べ、リコーダーに対して前向きな児童は増えたが、苦手意識を強くもち消極的になる児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「気付いたこと・感じたことの例」を示し、自分の言葉で表現できるようにする。友達と考えを共有して様々な表現方法があることを知り、自分の考えを増やす。【発見・表現・対話】 グループ演奏やクラス内発表の機会を増やし、教え合い、協力して演奏することで基本的な奏法を身に付けさせる。【対話・発見】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分で表したいことを見付けて活動できる児童が多いが、題材によっては発想が広がらずに課題に取り組めない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料を試しながら表したいことを見付ける場をつくりたり、友達と相談する時間や見合いの時間を設けたりすることで、児童が発想するきっかけをつくる。【対話・発見】 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を正しく聞き取つたり内容を理解したりすることに課題をもつ児童が多く、個別の対応が必要であること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や体験を振り返って、学んだこととの関連を考えたり表現したりすることができる授業を計画する。【発見・決定・表現】 自分の考えを、根拠や理由をいれて表現したり発表したりする機会を作る。【対話・表現】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> すんぐで体を動かそうとする児童と運動を避ける児童の二極化が見られること。 自分に合うめあてや練習を考えること。 相手の良いところを見つけることが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の活動を通して体や心の変化を意識させ、運動のよさを感じさせる。【発見】 グループやペアで話し合う時間を設定する。【発見・対話・発表】 動画を使って自分の動きを見る。【発見・決定】 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを図ろうとする意欲や態度に個人差がある。 アルファベットを覚えていないことで、書くことに消極的な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を活用して、児童が使いたくなる表現を使えるようにする。【表現】 書く時間をしっかり確保したり、ICTを活用したりして、児童が少しづつ自信をつけていくようにする。【発見】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていない

で、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立日新小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習熟が十分でない児童が多い。 自分の考えを書いたり話したりすることに課題がある児童がいる。 語彙力が乏しい児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 定着しづらい児童について根気強く繰り返し演習問題に取り組んだり、練習の仕方を工夫できるように具体的に支援・援助したりする。 書いたり話したりする視点を明確にし、様子を表す言葉を増やすような指導を行う。【対話・表現】 言葉の意味を調べる時間を短い時間でも確保する。読書活動（電子図書も含め）も積極的に取り入れる。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数と計算では、既習事項の通分、約分などの計算の定着ができていないため、新しい学習内容の定着に時間がかかる。 数量の関係に着目して立式することや、式から具体的な事柄を読み取って考察することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の始めに練習問題に取り組ませ、定着を図る。【発見】 式、図、表などを関係付けて理解する機会をつくり、問題について深く理解できるようにする。【対話】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 根拠のある予想を立てることが苦手な児童がいること。 観察・実験結果を基にした根拠のある考察をすることに課題があること。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の単元や生活体験と関連付けて予想をさせる。【発見】 自分の立てた実験計画からどのような結果が得られたのか考え、児童同士で検討できる時間をとる。【対話】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 専門用語の知識・理解が不十分な児童がいる。 課題解決に必要な資料を選ぶことに課題がある児童がいる。 資料から分かることや想像できることを考え、表現することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を指導し、事象を適切に表せるように指導する。【表現】 どの資料からどのようなことが読み取れるのか、児童同士で確認できる時間を設ける。【対話】 キーワードを使って自分の考えをまとめる指導をする。 		
音楽	鑑賞して「気付いたこと・感じたこと」を表現する語彙力が弱い。	「気付いたこと・感じたことの例」を示し、自分の言葉で表現できるようにする。友達と考えを共有して様々な表現方法があることを知り、自分の考えを増やす。【発見・表現・対話】		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを工夫して表現することに課題がある児童がいる。 配慮を要する児童が多く、発想・技能の個人差があるため、個別の支援が欠かせない 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に作品を見合う時間をつくり、他の児童の工夫している点など全体に紹介し、共有していく。【表現・対話・発見】 ねらいや作業工程がわかるように視覚的な参考見本等を用意し、個別に支援していく。【表現・対話】 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を正しく聞き取ることに課題をもつ児童がいること。 主体的に問題に向かう意欲や姿勢が十分でない部分があり、知識や技能の習得が不十分であること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や体験を振り返って、学んだこととの関連を考えたり表現したりすることができる授業を計画する。【発見・決定・表現】 自分の考えを、根拠や理由をいれて表現したり発表したりする機会を作る。【対話・表現】 		
体育	自己の課題を見付けることや、解決するための方法及び活動を工夫することに課題がある児童がいること。	友達同士で互いに活動を見合い、課題を見付けて、解決したりする時間を設定する。【発見・対話】		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを図ろうとする意欲や態度に個人差がある。 大文字と小文字の使い分けを苦手とする児童が多い。単語同士のスペースやピリオド忘れなどもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童がかかわりやすいような活動を意識して取り入れていくようにする。 アルファベットの書き方を定着させるために、書く機会を増やし、例文を見ながら英作文ができるようにしていく。【表現】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。